

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
家庭支援論 Home Support Theory		2年	後期	月曜日・5時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択 (保育士養成課程必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
相談援助				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育相談支援				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹利夫	講義棟2階	月・火・水・木の8時~18時		授業中に指示します
授業の概要 子どもを育てる環境としての家庭の役割と現代の諸問題を理解し、保育士として必要な子育て家庭支援を実践的に学ぶ。				
授業の到達目標 ①子育て環境として家族・家庭の役割を理解できるようにする。 ②現代社会における家庭が抱える問題について理解できるようにする。 ③保護者に対してその子育てを支援できるようにする。				
授業の方法 資料に基づく講義の他に、実践的に学ぶためにVTRを活用する。毎回、小レポートを提出。				
学習の成果 ①子どもを育てる環境として家族・家庭の役割を理解することができる。 ②現代社会における子育て環境としての家庭が抱える問題について理解することができる。 ③保育士として保護者に対してその子育てを支援することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス。(授業の内容・進め方・評価の方法)			
第2回目	子育て環境として家族・家庭の役割。			
第3回目	家族・家庭が抱える問題。(児童虐待)			
第4回目	家族・家庭が抱える問題。(ドメスティックバイオレンス)			
第5回目	家族・家庭が抱える問題。(一人親家庭)			
第6回目	子育て家庭支援のあり方。			

第7回目	保育園での子育て支援。		
第8回目	家族・家庭が抱える問題。(出生時診断)		
第9回目	家族・家庭が抱える問題。(里親制度)		
第10回目	世界の子育てについて。(子育ての特徴・子育て上の問題・その対策など)		
第11回目	家族・家庭が抱える問題。(子どもの障害や病気)		
第12回目	家族・家庭が抱える問題。(親の障害や病気)		
第13回目	幼稚園での子育て支援。		
第14回目	その他の子育て支援。		
第15回目	まとめ。		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		50%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート		50%	毎回授業の課題に沿って小レポートを提出する。授業の内容を理解した上で、自分の考えを展開することが求められる。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
授業内で指示する。			
履修上の心得・ルール			
私語禁止。飲食禁止。			